

ふくい街角景気速報

(平成23年2月分)

調査期間 平成23年2月10日～25日 (回答率：98%)

概況

景気の現状判断DIは45.7となり、前月に比べ2.5ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは50.0となり、前月に比べ5.7ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 45.7 (前月比 ▲2.5)

家計部門を見ると、小売店やスーパー、飲食店など、多くの業種で、雪の影響により売上や来客数が減少したとの声が聞かれた。

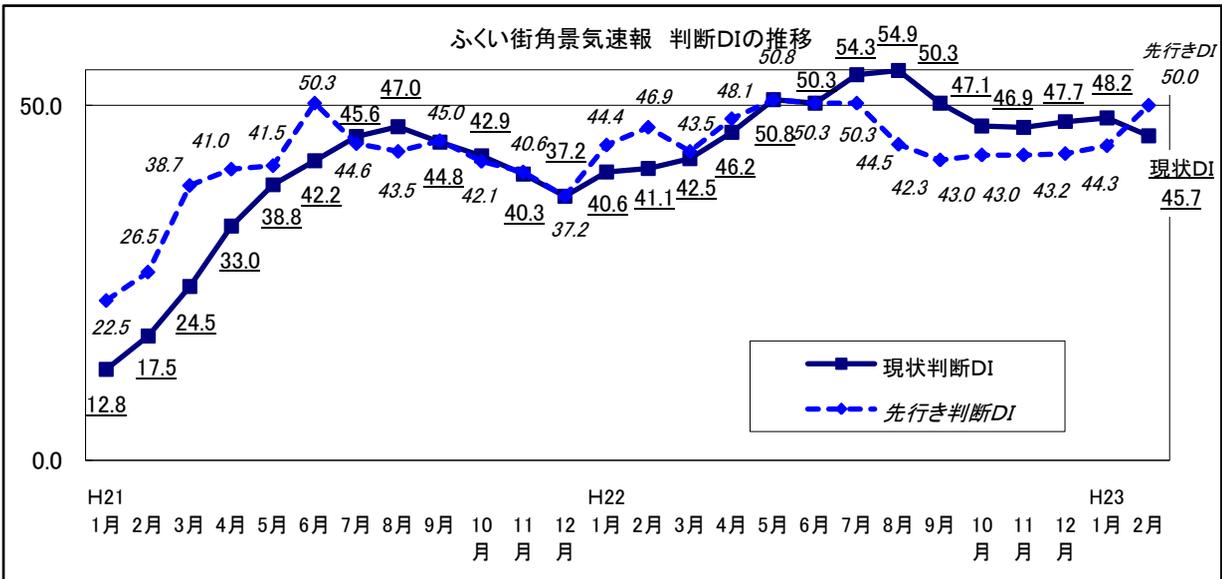
企業部門を見ると、繊維や電気機械、鉄鋼などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、雪のため売上などに影響があったとの声も聞かれた。

また、雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人に動きが出てきたとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 50.0 (前月比 +5.7)

多くの小売店やショッピングセンターなどでは、春に向けて客数等の増加が見込まれるという声が聞かれた。また、繊維や眼鏡など一部の企業では、受注が増加に向かうとの声が聞かれるとともに、各地域の就職支援担当者からは、企業の生産や求人数の増加が見込まれるとの声が聞かれた。

一方、商店街関係者やスーパー、製造業などの一部の企業からは、円高や原材料価格の上昇、不安定な国内政治を不安視する声が聞かれた。



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、45.7となり、3か月ぶりに低下した。
先月と比べ、雇用関連は増加したものの、家計動向関連、企業動向関連は減少した。また、変わらないとする回答が減少し、悪化しているとする回答が増加した。

家計部門を見ると、小売店やスーパー、飲食店など、多くの業種で、雪の影響により売上や来客数が減少したとの声が聞かれた。

企業部門を見ると、繊維や電気機械、鉄鋼などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、雪のため売上などに影響があったとの声も聞かれた。

また、雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人に動きが出てきたとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H22 9	10	11	12	H23 1	2	(前月差)
合計		50.3	47.1	46.9	47.7	48.2	45.7	▲2.5
家計動向関連		48.5	42.9	47.0	46.9	45.4	39.8	▲5.6
小売		49.3	47.8	50.0	48.5	47.8	41.9	▲5.9
飲食		62.5	18.8	31.3	37.5	31.3	31.3	+0.0
サービス		40.9	36.4	43.2	45.5	43.2	36.4	▲6.8
企業動向関連		50.0	51.5	45.7	46.4	49.3	48.6	▲0.7
製造業		50.0	51.0	44.0	50.0	50.0	51.0	+1.0
非製造業		50.0	52.5	50.0	37.5	47.5	42.5	▲5.0
雇用関連		57.7	51.9	50.0	53.8	55.8	59.6	+3.8

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(1月調査結果)
現状判断DI 44.3

○回答別構成比

	年 月	H22 9	10	11	12	H23 1	2	(前月差)
良くなっている		3.1%	2.1%	3.1%	1.0%	1.0%	0.0%	▲1.0
やや良くなっている		19.6%	16.7%	16.5%	17.7%	16.5%	22.4%	+5.9
変わらない		55.7%	54.2%	50.5%	53.1%	58.8%	40.8%	▲18.0
やや悪くなっている		18.6%	21.9%	24.7%	27.1%	21.6%	33.7%	+12.1
悪くなっている		3.1%	5.2%	5.2%	1.0%	2.1%	3.1%	+1.0

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、50.0となり、3ヵ月続けて上昇した。
先月と比べ、全ての部門で上昇した。また、回復するとの回答が増加し、悪化するとの回答が減少した。

小売店やショッピングセンターなど、多くの業種では、春に向けて客数等の増加が見込まれるという声が聞かれた。また、繊維や眼鏡など一部の企業では、受注が増加に向かうとの声が聞かれるとともに、各地域の就職支援担当者からは、企業の生産や求人数の増加が見込まれるとの声が聞かれた。

一方、商店街関係者やスーパー、製造業などの一部の企業からは、円高や原材料価格の上昇、不安定な国内政治を不安視する声が聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H22 9	10	11	12	H23 1	2	(前月差)
合計		42.3	43.0	43.0	43.2	44.3	50.0	+5.7
家計動向関連		43.4	43.9	44.0	43.8	41.8	49.0	+7.2
小売		45.6	47.8	45.7	43.2	44.9	49.3	+4.4
飲食		43.8	37.5	31.3	37.5	18.8	56.3	+37.5
サービス		36.4	34.1	43.2	47.7	40.9	45.5	+4.6
企業動向関連		41.4	41.4	40.0	42.1	44.3	47.9	+3.6
製造業		43.0	44.0	42.0	46.0	47.0	51.9	+4.9
非製造業		37.5	35.0	35.0	32.5	37.5	37.5	+0.0
雇用関連		40.4	44.2	47.9	44.2	53.8	59.6	+5.8

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(1月調査結果)
先行き判断DI 47.2

○回答別構成比

	年 月	H22 9	10	11	12	H23 1	2	(前月差)
良くなる		1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		8.2%	14.4%	11.3%	10.4%	13.4%	23.5%	+10.1
変わらない		53.6%	43.3%	55.7%	55.2%	54.6%	56.1%	+1.5
やや悪くなる		33.0%	38.1%	26.8%	31.3%	27.8%	17.3%	▲10.5
悪くなる		4.1%	3.1%	6.2%	3.1%	4.1%	3.1%	▲1.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額とも若干上向き。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・大雪の影響により売上等伸び悩んだが、2月に入り改善してきている。 ・10年後半よりさらに景気回復の兆しが明確になってきた。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・大雪の影響により売上等が不振となったが、雪解け後は大幅伸長。 ・特に生鮮、惣菜のデイリー商品が好調。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・昨年の売上、客数を若干上回っている。	
		坂井	百貨店 ショッピングセンター	・衣料は改善傾向であるが、食品・住関は競合店との競争もあり、厳しい。	
		丹南	スーパー	・来店客数や買上点数、客単価とも昨対を超えてきている。 ・競合店舗でも企画等により販促を強化している。	
		丹南	スーパー	・客のニーズに合わせた経営展開を行い、客数が増加してきた。	
	企業 動向	奥越	繊維	・世界的な寒波の影響もあるのかもしれないが、スポーツ・アウトドア関連の受注が堅調に推移している。 ・為替動向と原料・燃料の値上がり懸念材料。	
		坂井	繊維	・この時期は例年仕事量が多い。	
		奥越	電気機械	・受注量は延びてはいる。	
		丹南	電気機械	・受注動向に回復の動きがある。	
		丹南	鉄鋼	・受注量が増加している。	
		福井	IT関連	・受注量がやや増えている。	
		福井	金融機関	・一部の業種で受注量が増加の傾向にあるが、利益率は低い状況が続いている。	
	雇用	福井	労働相談員	・依然厳しい状況にあるが、求人数などに改善が見られる。	
		嶺南	労働相談員	・12月の敦賀の有効求人倍率および新規求人倍率は、いずれも前月、前年同月を上回った。 ・小浜の有効求人倍率は前月、前年同月を上回ったものの、新規求人倍率は下回った。	
		嶺南	学校就職担当者	・2012年新卒は2~3ヶ月遅らせて採用活動する企業が増加している状態である。 ・景気も緩やかではあるが底から脱却していると思われる。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・採用に関する動きは明るさが戻ってきている。 ・ただ中小企業においてはその実感が感じられない。	
		福井	人材派遣会社	・求人数が増加している。	
	③変わらない	家計 動向	福井	小売店	・客の様子に変化がない。
			丹南	小売店	・客単価は低調だが、来客数がやや上向きになってきている。
福井			百貨店 ショッピングセンター	・売上は前年割れ。 ・ニットアウターやコートなど高単価商品が動き、客単価は増加し、客単価増につながった。	
福井			百貨店 ショッピングセンター	・1月末の大雪の影響で、1月は来客数が大きく下がった。 ・2月に入り除排雪が進み来客数は上がっているが、今後については先行きの見えない状況が続いている。	
丹南			百貨店 ショッピングセンター	・客単価や購買点数、客の様子などに変化がない。	
福井			スーパー	・生鮮と惣菜の両方で前年を上回る傾向が出てきた。 ・一方、客数は減少しており、消費者が店舗を選択している傾向が顕著だと見ており、著しい需要増につながるとは考えにくい。	
嶺南			スーパー	・来客数は雪の影響でやや減少した。	
福井			大型小売店	・エコポイントの変更に伴う駆け込み需要の影響により客数が減っていたが、戻ってきている。	
福井			居酒屋	・雪の影響もあって、客数が少ない。	
福井			駐車場	・利用者台数では3ヶ月前と比べると横這い、前年同期と比較すると減少となっている。 ・今後も横這い又は減少傾向は変わらないと考えている。	
福井			ビジネスホテル	・客数は増加しているものの、単価が減少している。	
坂井			観光・レジャー施設	・雪の影響で客数が減少した。 ・各地で自然災害が多発している。	
坂井			旅行代理店	・来店客数は若干上向きに転じてきたが、単価が下落しており、販売量としては前年割れ。 ・同業他社の店舗整理は依然続いている。	

③変わらない	企業 動向	坂井	繊維	・受注や販売量に変化がない。
		福井	繊維	・1月～2月にかけて、また市況が静かになってきた。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動き、取引先の様子に変化がない。
		嶺南	電気機械	・製造の海外シフトが加速しているが、原材料の上昇、海外の件費高騰が続いており、コスト圧迫要因となっている。 ・一方、市場が成長している発展途上国向けの売上比率が上がっているが、新興国のローカルメーカーとの競合となるケースも多く、売上は厳しい状況が続く。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子に変化がない。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きに変化がなく、売上の8割を占める住宅市場が相変わらず低迷している。
		丹南	伝統工芸	・受注量の動きに変化がない。
		丹南	伝統工芸	・パルプ等の販売量に変化がない。
		福井	商社	・2月は前年に比べ雪のため暖房油は増加しているものの、石油販売業および工場向け重油は減少している。 ・また、運輸向け軽油は価格競争により赤字のため、県内地場業者は納入できず、さらに建設向け軽油は除雪が終わり需要がない。
		奥越	食料品製造	・販売量に変化なし。
		嶺南	医薬品	・景気に左右される健康食品、一般薬の動向に変化は見られない。 ・一方、農作物や石油関係の原料が値上げラッシュでコストアップが懸念されている。
		福井	金融機関	・一部の業種では業績上向きの傾向があるが、全体的には小口、中口の倒産が目立つ。
		福井	不動産	・単月の受注目標を達成し、全般に引合いも変わらず。 ・但し先行きについては、不透明感を感じている。
		嶺南	運輸	・企業のコストダウンを考えた時に、先ず運送費の見直しを考える場合が多く、このためなかなか値上げ交渉が進まない状況にある。
		雇用	奥越	自治体労働政策担当課
	奥越		学校就職担当者	・ハローワークの一般求人は少し良くなっていると聞いているが、今後持ち直していくかどうかは不透明である。
	福井		学校就職担当者	・求人数の増加もなく、変わっていない。 ・相変わらず福井市内はにぎわっていない。
	福井		学校就職担当者	・すでに全員内定しているので、新たな求人は来ないが、ハローワークの求人数はさほど変化がない。
	嶺南		ジョブカフェ担当者	・トライアル雇用など、多少求人は増えているように感じるが、景気が良くなっているとは思わない。
	福井		就職情報誌	・求人数は変わらず、厳しい。
嶺南	就職情報誌		・周辺企業の様子に変化が見られない。	
④やや悪くなっている	家計 動向	坂井	小売店	・積雪により、極端に来客数が激減し、売上も減少している。 ・景気動向と関連はないにしても決して良い状況ではない。
		奥越	小売店	・エコポイントで5ツ星となっている商品が中心のため、単価、販売量ともに今ひとつの状況。
		奥越	小売店	・近場のツアーで県外のアウトレットへ出かける人が多く、そこで高額商品を買ってくる人がお客の中に増えたため、自店舗の高額商品が売れない。
		丹南	小売店	・雪も多く、販売量が減少している。
		嶺南	百貨店 ショッピングセンター	・食品部門はどの店舗も陳列量が減少しており、商品の回転率を考えた上での処置と考える。 ・衣料はジーンズ・デニム系のアイテム陳列量が、以前より大分減っている。
		奥越	百貨店 ショッピングセンター	・来客数、売上とも昨年に比べ減少が続いている。
		坂井	スーパー	・一部に持ち直しの動きはあるものの、個人所得の伸びが見られないため、消費マインドはまだ低い。 ・加えて今回の大雪による影響も大きいと思われる。
		嶺南	大型小売店	・テレビや冷蔵庫、エアコンなど12月からエコポイントが半減した反動と思われるが、12～1月の売上、特にエコポイント商品による売上が伸びていない。 ・競合も同じ状況だと聞く。
		嶺南	コンビニエンスストア	・雪の影響がかなりあった。
		嶺南	ドライブイン	・販売量の動きや来客数が低下している。
		嶺南	観光物産店	・雪の影響もあり、来客数が減っている。
		嶺南	レストラン	・年末から2月上旬にかけて雪の影響により、来客数、販売量とも減少している。
		福井	自動車整備	・同業他社と競争が激しくなっている。

④やや悪くなっている	家計 動向	丹南	クリーニング店	・大雪によりほとんど来客がなかったが、最近少し品物が出るようになった。
		坂井	旅館	・売上高・客数ともに落ち込む。 ・芦原温泉全体が冷え込んでいる。
		福井	ビジネスホテル	・大雪の影響のため、年明け後のビジネスマンの誘客が悪く、土曜日の客室稼働率が悪い。 ・また、台湾等の外国人客の団体予約が入らない。
		福井	旅行代理店	・国内旅行商品の販売が伸びない。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・受注はあるが、価格が採算割れしているので受けられない。
		丹南	眼鏡	・12月は同業3社が自己破産して業界に衝撃が走り、今ひとつ消費の盛り上がりがあった。 ・1月もご祝儀の取引が低調で困っている。 ・1月の大雪により、雪が消えるまで景気が良くなるらない。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量が減少している。
		嶺南	商社	・年明けからの売上などの悪さが続き、雪の影響で更に悪くなっている。
		丹南	食料品製造	・1月の売上は前年比やや下がっており、雪の影響と考えられる。
		坂井	非鉄金属	・受注量が減少している。
		坂井	IT関連	・受注額が減少している。
		坂井	建設業	・雪の影響がかなりある。
		嶺南	建設業	・公共工事の早期発注により、年度末に向けて業務が減少傾向にある。 ・国庫補助に大きく影響される地方行政においては、国の予算が不安定で見通し立たないという状況にあると推察され、その状況を反映してか、民間の動きも鈍い。
		福井	運輸	・売上が目標未達成の状況が2ヶ月続いている。 ・前年実績より多いものの、3ヶ月前の状況と比較すると、売り上げ増加の勢いが落ちてきていると思われる。
福井	運輸	・原油高騰が厳しい。		
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	・雪のため、各店舗の状況は悪い。
		坂井	土産品等販売店	・旅行シーズンが終わり、閑散期で来客数が減っている。 ・加えて、例年になく大雪となりキャンセルが相次いだ。
		福井	割烹	・雪の影響により全くといってよいほど来客がなかった。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなる	家計 動向	嶺南	商店街	・良くなると厳しい。	
		坂井	小売店	・春に向かって来客数増が望める。	
		奥越	小売店	・地デジ移行に残り数カ月となり、客数増が見込まれ、また、エアコンも少しずつ動きだす。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・年末以降、株価上昇、円安傾向と外部状況が徐々に好転し始めている。 ・2月に入り景況感が更に好転、天候回復も後押しし、前年確保の商品群が増加している。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・客数、客単価も上昇傾向にあり、勢いが肌で感じられる。 ・3月から気温上昇に伴い、さらに客数増も見込まれ今後に期待。	
		坂井	百貨店 ショッピングセンター	・全般的な傾向として、普段は節約志向であるが、イベントなどの時はプチ贅沢を好む傾向もあり、やや回復基調と思われる。 ・今冬は降雪が多く、関連商品は大きく伸びた。	
		坂井	土産品等販売店	・桜の花見など旅行シーズンに入るため、来客数が増えてくる。	
		嶺南	ドライブイン	・観光客は増加が見込まれる。	
		福井	割烹	・選挙になると状況も変わるが、足元が良くなってくると少しは来客数も増すのではないかと。	
		福井	自動車整備	・今までより、多くの客が見込まれる。	
		丹南	クリーニング店	・春先の衣替えを期待している。	
		企業 動向	福井	繊維	・在庫が減り、受注が増えてくると考えられる。
			丹南	眼鏡	・春先に向けての新規注文やリピート注文がある。
			丹南	電気機械	・当社の受注動向が良くなっている。
	丹南		鉄鋼	・受注量が増加傾向にある。	
	丹南		伝統工芸	・年度替りという事で新規のものが予想される。	
	嶺南		商社	・季節的要因が大きいですが、温かくなり人の動きが出ればもう少し商品も動くと思われる。	
	福井		IT関連	・受注見通しが良くなってきている。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・企業も最悪期を脱し、市内企業で電子関係企業は生産増を行っている。	
		福井	学校就職担当者	・政治が、利権にとらわれず自由競争を推進し、税金が無駄のない使われ方をすることで、市民の生活安定にもつながる。 ・地方が変わっていくことで景気や国民の政治不信を改善していく一助になると考えている。	
		嶺南	学校就職担当者	・2013年新卒から、4年次の4月から採用活動をスタートさせる意向と経団連会長の発表があり、学生の就職活動にはプラスになるのではないかと。	
		福井	就職情報誌	・求人数が増えると予測する。	
		嶺南	就職情報誌	・7月までの地デジ特需に期待したい。	
		③変わらない	家計 動向	丹南	小売店
	丹南			小売店	・春先に向かって改善していくと思われるが、何とも言えない。
	福井			百貨店 ショッピングセンター	・単品買いの傾向は変わらないので、客単価は上がらない。 ・春物スプリングコートやセレモニースーツなどに動きがある。
	福井			百貨店 ショッピングセンター	・春先は動きがあると思われるが、その先は見えない状況にある。
福井	百貨店 ショッピングセンター			・変化する要素がない。	
丹南	百貨店 ショッピングセンター			・春のシーズンに向けて動きが見られると思うが、将来に向けた明るい材料が出てこないとさらに上向くのは難しい。	
丹南	スーパー			・各種食品の原材料価格の高騰が商品売価に転嫁されれば、低価格に慣れた客はさらに低価格の店選びをすると予想できる。 ・その時に自社が価格負けしない売価を出し続けていくことが大事と考える。	
丹南	スーパー			・客数は増加しても、一点単価、購入点数、客単価が上向かない。	
嶺南	スーパー			・若狭牛が売れない。	
嶺南	大型小売店			・景気が良くなる要因が聞こえてこない。	
嶺南	レストラン			・NHKの大河ドラマ等の好影響を期待している。	

③変わらない	家計 動向	福井	居酒屋	・客がお金を使わない。	
		福井	駐車場	・全般的に景気の上向き材料が乏しく、今後も期待できない。	
		福井	ビジネスホテル	・単価を上げにくい状況であり、客数は増加しているものの単価が減少している。	
		坂井	観光・レジャー施設	・明るくなるようには感じない。	
		坂井	旅行代理店	・エコポイント実施による駆け込み特需が終了し、反動による景気の停滞が心配される。 ・比較的好調なシルバー層の需要拡大が期待される。	
	企業 動向	坂井	繊維	・円高が厳しい。	
		奥越	繊維	・円高と原料・燃料高が受注に影響を与えるのではと懸念している。 ・欧米市場の回復が期待通りとなれば、大きな下支えになると思われる。	
		坂井	繊維	・目先のことしかわからない。	
		丹南	眼鏡	・価格は上がらないと思うので、単価に合う方法を考えなければ成らない。	
		福井	一般機械	・2～3ヶ月先の受注状況に変化がない。	
		奥越	電気機械	・エコポイント終了などにより、市況は不透明。	
		嶺南	電気機械	・成長には中国など新興国向け売上が不可欠であるが、売価のデフレ傾向は止まりません。 ・一方、原価面では円高、原材料高騰、海外の人件費高騰、労働力確保難等への収益対策が大きな課題になっている。	
		嶺南	化学・プラスチック	・デフレスパイラルと消費低迷の中、政府の適切な経済浮揚策が無い。	
		福井	化学・プラスチック	・住宅市場の回復には2、3年ぐらい先になるであろうと見ている。	
		丹南	伝統工芸	・取引先の様子に変化がない。	
		福井	商社	・個人向けは量的には前年並みだが利益は全然出ず、工場向けは約1割減で推移すると思われる。 ・工場向けも雪が無くなり、名古屋などの業者が安値で売り込んでくるため、地元業者は対抗できない。	
		奥越	食料品製造	・12月から上向きが見られない。	
		坂井	非鉄金属	・受注見通しは変化なし。	
		福井	金融機関	・一部の業種では業績上向きの傾向があるが、全体的には小口、中口の倒産が目立つ。	
		福井	不動産	・日本の置かれている現状と福井の現状を判断すれば、好転換する要因が見当たらない。	
		福井	運輸	・政治、為替、原材料高騰など不安材料はあるものの、それがどのように経済に影響するのか分からない。 ・今年度は微増収で推移すると予想されるが、来年度以降は前年水準もしくは前年割れするものと思われる。	
		嶺南	運輸	・軽油代等の支出増加があり、景気が良くなる材料がない。	
		雇用	福井	労働相談員	・政治の先行きが不安定。
			嶺南	労働相談員	・地元各企業の生産状況もまずまず順調のようであるが、改善ペースが鈍っている。
			奥越	学校就職担当者	・政治が不安定であり、雇用に影響を与える懸念がある。
	福井		学校就職担当者	・雇用情勢が改善傾向にあるものの、国内政治が不安定であり、影響を及ぼさなければ良いが、不安である。	
	福井		ジョブカフェ担当者	・先行き不透明さは今後とも続くと思われる。 ・労働力人口の減少は更に拡大し、消費額の停滞による景気の低迷が普通の状況になる。	
	嶺南		ジョブカフェ担当者	・政治、経済ともに安定感がないこともあり、変わらない。	
	福井		人材派遣会社	・人材派遣法の行方と景気が不透明。	
	福井		商店街	・近年にない大雪のため、客足が鈍るということを予想している。	
	奥越		商店街	・政治が不安定。	
	福井		小売店	・政治の不安定と大雪の影響。	
奥越	小売店		・大企業が独占する社会になり、地元での商いは年寄りだけが対象となってしまいうよう不安がある。		
奥越	百貨店 ショッピングセンター		・奥越で良い話を聞いたことがない。		
福井	スーパー	・客単価に大きな変動がなく、客数の減少傾向が見られる。 ・店舗ごとの固定的な支持者の来店頻度が減少していると感じる。			

④やや悪くなる	家計 動向	坂井	スーパー	・当面現状が続くほか、消費税の議論が再燃しており、ますます購買意欲を停滞させるものとする。
		福井	大型小売店	・家電業界は厳しくなる予想である。
		福井	ビジネスホテル	・ビジネスマンの誘客が上がりそうにない。 ・土曜日の客室稼働率が悪く、現状を改善できる兆しが見られない。
		福井	旅行代理店	・良くなる話題がない。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・円高、資源高により物価が上昇しているため、メガネは後回しとなっている。 ・日本の家計貯蓄率や民間の平均給与が減少しており、厳しい状況にある。
		福井	化学・プラスチック	・景気支援制度の終了と円高の影響により、やや悪化すると考えられる。
		丹南	食料品製造	・飲食業では、円高にもかかわらず海外からの輸入食材が高くなって原価を上げている。 ・外国企業に買い負けをしていると考えられる。
		嶺南	医薬品	・加工業であるため、原料価格上昇は影響が僅小であるが、収益圧迫要因であることは間違いない。
		坂井	IT関連	・受注見込み額が減少している。
		坂井	建設業	・政情が不安定。
⑤悪くなる	家計 動向	坂井	旅館	・芦原の魅力不足。
	企業 動向	嶺南	建設業	・消費税導入の議論は、景気悪化に拍車をかける事態になると推察する。 ・国民生活は、負担増のみの政策が羅列されており、民間の投資が活性化するとは思えない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)